

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅳ	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	古川博文・林 宏二・山田克宏	開講期	3年後期	単位数	1

【授業の主題】

個別支援から地域支援へと支援範囲の拡張が求められるさまざまなニーズと社会資源についての理解を促す。地域社会におけるソーシャルワーカーとその機関の機能と役割についての理解を深めるとともに、集団・組織の理解、他職種や市民との連携と協働、住民参加の方法について学ぶ。システムの視点、エコロジカルな視点の醸成を促す。

【到達目標】

- 1) 地域アセスメントを実施するための活動主体の組織化と組織の理念・目的の確立、地域特性調査、地域ニーズ調査の方法とプロセスについて理解できる。
- 2) 地域住民や当事者らのストレングスに着目し、エンパワメントを志向した活動計画やプログラムづくり、参加のデザイン、地域福祉計画について理解できる。
- 3) ソーシャルアクションにつなげていく必要のある課題についての検討とその方法について理解できる。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション、地域福祉の基盤整備と開発
- 第 2回 地域住民に対するアウトリーチ
- 第 3回 地域ニーズの把握のためのステップと方法
- 第 4回 地域アセスメント
- 第 5回 地域福祉計画の策定①
- 第 6回 地域福祉計画の策定②
- 第 7回 地域福祉計画の策定③
- 第 8回 ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発
- 第 9回 地域福祉推進のための援助技術
- 第 10回 コミュニティアクションとソーシャルアクション
- 第 11回 活動・プログラムの実施 ～活動計画作成①～
- 第 12回 活動・プログラムの実施 ～活動計画作成②～
- 第 13回 活動・プログラムの実施 ～活動計画発表①～
- 第 14回 活動・プログラムの実施 ～活動計画発表②～
- 第 15回 演習のまとめ

【授業実施方法】

演習

【授業準備】

関連する科目で学んだ講義内容を再確認しておくこと。

【主な関連する科目】

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習

【教科書等】

日本社会福祉士養成校協会『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版

【参考文献】

その都度紹介する。

【成績評価方法】

平常点 10%、レポート 30%、計画策定・発表等 60%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【学生へのメッセージ】

具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする参加型授業形態なので積極性を発揮してもらいたい。